

平成29年度の主な事業報告

社会福祉法人 朝倉会

社会福祉事業

平成29年度の事業報告

〔法人本部〕

サービスを第一に法人全体の基盤強化を目指す。

- ① 法人の使命
- ② 役員会・評議員会の活性化

朝倉会の法人の多様な問題点を浮き彫りにして、法人として使命と地域のニーズに配慮しながら運営を進めて行きます。役員会・評議員会は理事長を先頭にたて、理事・監事と評議員とが協力をし、一致団結して法人の運営を行ないます。

〔朝倉保育園〕

- ① 保育園への利用者へのサービスの充実
- ② 朝倉保育園の設備修繕

具体的に、大きな案件と致しまして、園舎の塗装の残り部分と屋外倉庫の付帯部分・屋内倉庫のリフォームを行いました。そして、簡易型消防水栓設備工事を4ヶ所設置致しました。

朝倉保育園の運営も旧朝倉村の少子高齢化で子どもの数が減っており、保育園の独自の考えで通園バスを運営して旧今治市内の乳幼児を確保しております。保育園の園庭も広く乳幼児が自由に伸び伸びと遊べるスペースが有り、虫や鳥や小動物を見たり触ったりと自然の中での保育が出来ております。

保育園での体験保育は駐在所と一緒に、交通安全教室を行い、事故に会わないように指導してもらっておりますし、今治市東消防署とは消火訓練等の指導を受けております。園内では年長組（ひまわり組）のお泊まり保育やお店屋さんごっこで実際に買ったり食べたりの体験保育、園庭で乳幼児全体でカレーパーティを開いて楽しく食事をしたりの感動体験をしております。

地域社会との関連は小学校とは運動会や二年生の生活科の中での話し合い。中学校とは中学2年生との保育実習や職場体験実習での関連。地域の老人ホーム清流園とは保育園での運動会のゲームへの参加やホームへの訪問で一緒に楽しく遊んだりと取り組んでおります。朝倉地域運動会にも鼓隊パレードで参加し、地域との触れ合いを大切にしております。

平成30年度の主な事業計画

〔法人本部〕

サービスを第一に法人全体の基盤強化と将来的な計画を目指す。

- ① 法人の使命
- ② 役員会・評議員会の活性化
- ③ 将来に向けての計画立案

〔朝倉保育園〕

保育園への利用者へのサービスの充実

- ① 人材確保と人材育成
- ② 子どもへの保育の質の向上
- ③ 家庭支援の質の向上
- ④ 入所児童のみならず地域全体の子育て支援
- ⑤ 入所児童の減少や修繕に備えた資金確保

具体的に、保育園バス1台の老朽化の為の資金の積み立てとすみれ組の修繕等を少しずつ進めて行きたいと計画しております。又、たんぼぼ組のカーテンをブラインドに変更したいと思っております。

法人本部と朝倉保育園とが一体となり、地域福祉の担い手としてニーズに応じたサービスを心掛けます。

少子化等で入園児童の減少が取り沙汰されるのが現状である事を踏まえ、子どもへの保育の質の向上に努めなければならないと考えております。そして、全体的な子育て支援に取り組んで参りたいと考えております。

また、この自然豊かな朝倉保育園の環境の特色を生かした保育を進め、充実した保育園生活がおくれるよう、人的環境・物的環境・空間的環境・自然環境等の環境整備に配慮し邁進して行きたい所存でございます。

子ども達の大好きなあんぱんまんと共に生活できる保育園づくりを目指しております。そして、子ども達が「保育園で楽しいところだな」「明日も保育園に行っていっぱい遊びたいな。」って思えるような保育園づくり、また、地域に根ざし地域に開かれた保育園づくりや子育て支援に繋がる保育を目指しております。

その為には小・中学校との連携や地域との連携の必要性の大切さを痛感し保育園が地域社会と一丸と成って、より良い子育ての力をいっぱい持った保育者でありたいと願っております。

将来の展望としましては将来に向けての計画をしっかりと見据えた上で立案し、入所児童の減少や修繕に備えた資金確保の充実に努めたいと考えております。